



314  
A 915



ガゼット 新聞抄譯

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈

過日来東京ニテ頻リニ傳唱シタル所ノ説ニ依レハ日  
 本ノ外務省 海軍中將レソフスキー氏ニ向ヒ魯西  
 亞兵ノ恰モ之ヲ陣所ノ如クシテ以テ長崎アケノ浦ナ  
 ル造兵所及ヒ同港ノ新船渠ヲ監察命令スル所ノ稻佐  
 卿ヲ引拂ハントテ固ク要望セラレタルニレソフスキー  
 氏ハ一旦清國ト戦端ヲ開クニ及バ其土地及ヒ建物  
 ハ魯西亞ノ為メニハ太ダ要用ナル者ナリトシ亦タ固  
 リ此要望ヲ承諾スルヲ拒ミソリト此説ニ就テハ余  
 輩未タ充分ノ信用ヲ措カリシニ或ル日本新聞及ヒ佛  
 字ニ新聞ニ於テハ復々之ヲ再記ス  
 海軍中將ソフスキー氏が要ノ者ナリト思惟  
 スルハ敢テ又怪ムニ足ラズトモ既に余輩ノ論セル如



ク若シ日本が固ク局外中立ヲ守ルノ心ナリトセバ其  
地ヲ双方ノ内一ト貸シテ之ニ根據トシテ用ウハ  
ガ如キ事アレバ必ズ亦スルニ之レト一様ノコトヲ受  
免レザル可シ夫レ日本ニテ魯西亞ノ為メニ其足ヲ置  
ク可キ地ヲ與フレバ清國モ亦メ其都合ヨキ時ニ於テ  
此局外中立ヲ破リタルコトヲ以テ自ラ之ニ報ズルノ權  
利ヲ有スル者トナシ得ケレバ井上公閣下ハ必ズ萬  
國公法ニ明カナル學者ト共ニ之ヲ評議セラレ可シ